

目標達成計画

作成日: 平成28年 3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1.3.7. 13. 18. 23. 26	事業所の理念やグループホームにおける認知症介護の必要性、福祉、介護の基本的精神に照らすと、現状がかい離してしまっている部分がある。	今一度、基本的な事柄をおろそかにせず、これでいいのかと考え直す。すぐに実行できることはすぐに実行に移す。理念やご利用者や家族の意向に合致しているかまで職員全員で検討し、改善し、実行する。実行後も正しいのかどうか検討を怠らないようにする。	職員全員で取り組めるよう、話し合いを重視する。職員間の人間関係の向上や維持も、職員全員で意識し行動する。	12ヶ月
2	13.14	介護技能や知識、マナー等の介護の基礎力が弱く、現場での考え方や応用力が発揮できない。	介護の基礎力を高めることで、より高度なケアを実践し、問題が生じた際にも臨機応変に対応できるスキルを身に付けることで、経験の浅い職員さんは余裕が持てるようになってもらう。	各々自己の不足するスキルに応じて研修を受講したり、職員同士でも先輩後輩間で助言・指導を行い合いながら、介護の基礎力を高める。	12ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。